

エコアクション21

～環境経営レポート 2024年度版～

(2024.1～12)



(株)ウインドーセンター奈良

〒630-8453

奈良県奈良市西九条町4-1-12

<http://wcn593.com>

TEL:0742-61-0220

FAX:0742-62-9155



奈良県
エコアクション21
認証番号0000593

【作成日】2025年1月17日

当社の環境経営プログラムはエコアクション21（2017年度版）で運用しております。

1.組織の概要

●事業所名及び代表者

株式会社ウインドーセンター奈良
代表取締役社長 山本 尚永



●所在地

〒630-8453 奈良市西九条町4丁目1-12

●環境管理責任者及び担当者連絡先

松田 麻友美 電話：0742-61-0220

●事業の概要

サッシ組立及び建材加工販売

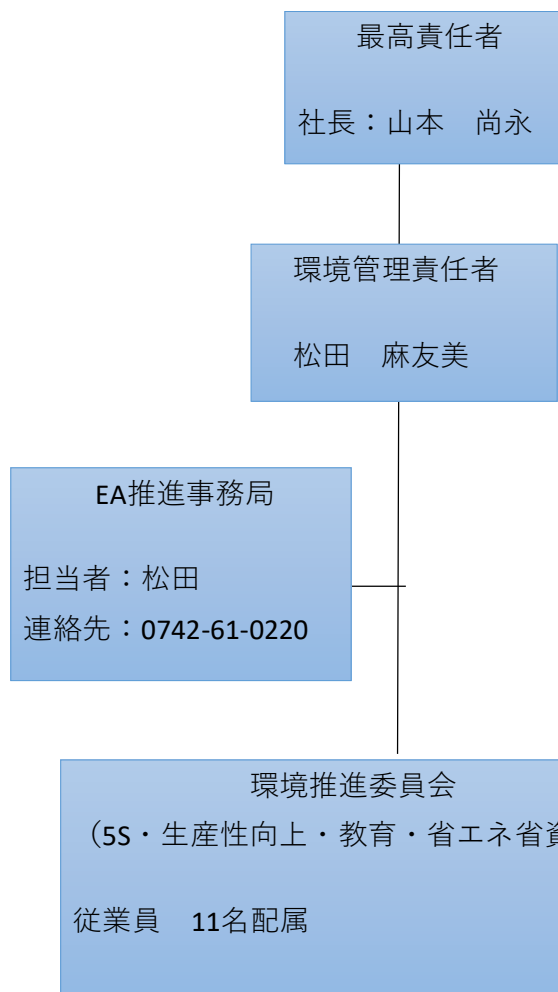
●事業規模

【資本金】 3,000万円



活動規模	主要製品生産量 (t)	売上高 (百万円)	従業員 (人)	床面積 (㎡)
2022年	691	484	13	1638
2023年	598	437	13	1638
2024年	507	397	11	1638

◆推進組織◆



★当社は、製造部・営業部共、
全組織・全活動を対象として
エコアクション21に取り組み、環境経営システムを
構築、運用、維持を行っています。



役割(責任)

- ・社長（最高責任者）：EA21に関する全ての責任と権限を持ち、環境管理責任者を命ずる。
EMS推進維持にあたり必要な資源の準備を確保・提供する。
- ・環境管理責任者：EA21の運営と実施及び社長への報告。
- ・各委員長：環境管理責任者の指示に従って、委員会の目標・計画の立案「環境経営計画」を実施する。
- ・委員会：社の方針、委員会の目標・計画に従って実行する。
- ・EA推進事務局：全体のとりまとめ及び環境経営文書等の作成・連絡・配布を行う。

2.対象単位（全組織）

I.認証登録範囲	サッシ組立及び建材加工販売
II.レポートの対象期間	2024.1.1～2024.12.31
III.レポートの発行日	2025年1月17日

3.環境経営方針

-経営方針-

企業理念：窓づくりを通じて、全てのステークホルダーを幸せにする。

1. 我が社は、品質向上に努め、TQCの質の向上を目指す。
2. 我が社は、窓づくりを通じ、人材育成を図り社会貢献を果たす。
3. 我が社は、全従業員の物心両面の幸福を図る。

-環境方針-



株式会社ウインドーセンター奈良は、環境貢献を実現する為に
環境方針を以下のように定める。

1. 省エネ及び廃棄物削減を通じて、継続的なCO₂削減に取り組む。
2. 企業活動の全ての段階において、使用資源、排出物の最小化を図る。
3. 全従業員に、環境教育・訓練を実施し環境保全意識の周知徹底を図ると共に
継続的な改善に努める。
4. グリーン購入適合品の使用に努め、環境管理の維持向上に努める。
5. 環境商品であるエコガラスの普及に努める。
6. 関係法令、セキスイハイム工業(株)要求事項、当社が同意する他の要求を遵守する。
7. 社外との連携の強化を図り、地域社会並びに関係先の環境保全活動に協力する。

【制定】2005年3月1日

【改定】2022年4月1日

株式会社ウインドーセンター奈良
代表取締役社長 山本尚永

4.環境経営目標

(2024/1/30設定)

管理項目	単位	2023年度 基準年	単年度目標		
			2024年	2025年	2026年
温室効果ガス排出量	kg-CO2	17426	17252 (-1%)	17077 (-2%)	17423 (-3%)
温室効果ガス排出量	kg-CO2/百万円	39.9	39.5 (-1%)	39.1 (-2%)	38.7 (-3%)
購入電力使用量	kWh/百万円	88.9	88.0 (-1%)	87.1 (-2%)	86.2 (-3%)
軽油使用量	ℓ/百万円	4.08	4.04 (-1%)	4.00 (-2%)	3.96 (-3%)
ガソリン使用量	ℓ/百万円	3.18	3.15 (-1%)	3.12 (-2%)	3.08 (-3%)
産業廃棄物最終処分量	kg/百万円	8.3	8.1 (-2%)	7.9 (-4%)	7.7 (-6%)
上下水道使用量	m³	87.0	86.6 (-0.5%)	86.0 (-1%)	85.7 (-1.5%)
エコガラス販売枚数	枚	178	179 (+0.5%)	180 (+1%)	181 (+1.5%)

- * 購入電力（低圧電力）/ｸﾞﾘﾑｽﾊﾟｰの排出係数は、0.486(kg-CO2/kWh)、
（従量電灯）/出光興産(株)の排出係数は0.000(kg-CO2/kWh)で算出しています。
- * 2024年～2026年温室効果ガス排出量（kg-CO2）目標は、
2023年売上437百万円をベースに総排出量を算出しました。
- * 2021年度目標より、産業廃棄物処分量は請求書（kg）ベースで算出しています。
- * エコガラスはLOW-E硝子を指し、目標は売上枚数増加率を指す。
- * 総物質投入量と総物質生産量の歩留率は、99%以上なので、管理項目から除外しました。

管理項目及び管理方法について

把握すべき環境負荷	当社管理項目	管理方法
二酸化炭素排出量	購入電力使用量	使用量を100万円あたりの売上金額で除した係数で管理
	4 t 車 軽油使用量	
	ガソリン使用量	
産業廃棄物	産業廃棄物	毎月の排出量を100万円あたりの売上金額で除した係数で管理
最終処分量	最終処分量	
総排水量	上水道使用量	毎月の購入実績を管理

5.環境経営計画

I.電気使用量の削減	取組み内容・対象
1. 休憩時の消灯徹底	近接化、部分消灯/ 各作業場
2. 設備・機械・工具のエア漏れ修理、メンテナンス	作業前・後点検 5S [®] コントロール 管理表
3.エア漏れ防止	作業前・後点検 5S [®] コントロール
4. 省エネ製品の推進	OA機器等（買替時）
II.軽油及び ガソリン使用量の削減	
1. ナビの切り替え	ナビ入れ替え
2. エコカーの検討	リフト、トラック
3.現地工事の管理	同ルート、同日対応（事務所管理）
III.廃棄物の削減	
1. 廃棄物の分別	現状維持（表示等）
2. リユース・リサイクルの推進・継続	リサイクル可能物、方法の探求
3. 不具合削減	品質管理（検査表、手順書）
IV.グリーン購入の継続	
1.グリーン購入の推進	消耗品、事務用品
V.エコガラスの販売促進	
1. 他社とのタイアップ	補助金周知、協力店連携
2. 販売の改善	ネット、チラシの活用

-2024年 5S活動記録-

2/9 作業台補修/ 鏡職場・ペアライン



3/ 28 ペアライン(2)吸盤交換



4/ 26 ツツジ開花



5/10 トラック傾斜台車メンテ



5/16 納入ラック車輪交換



6/26 現地手直し用作業台メンテ



12/19 定期清掃 窓ふき



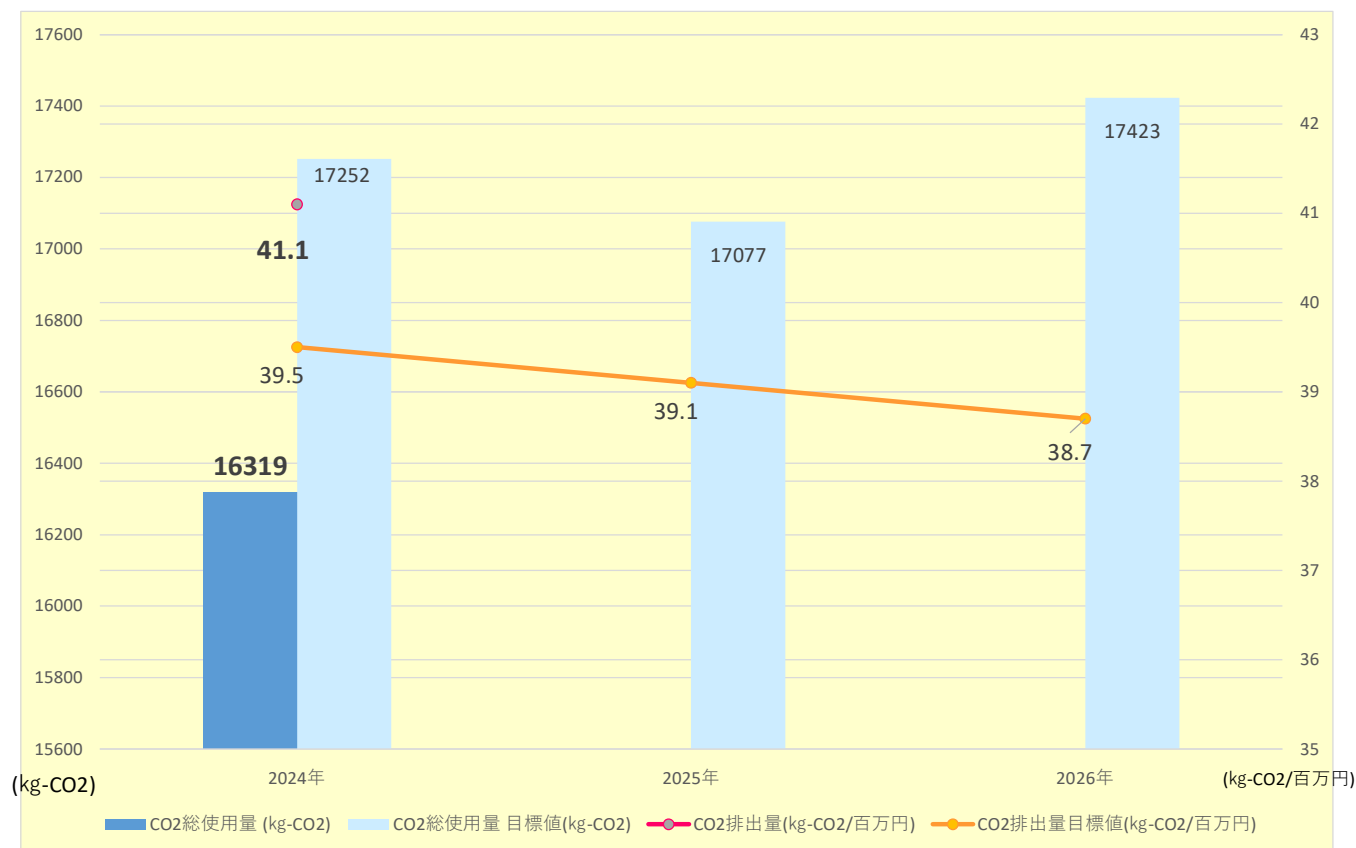
6.環境経営目標の達成状況

管理項目	単位	2023年 基準値	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率 (%)	目標達成の 可否 (○×)
温室効果ガス排出量	kg-CO2	17426	17252 (-1%)	16319	106%	○
温室効果ガス排出量	kg-CO2/百万円	39.9	39.5 (-1%)	41.1	96%	×
購入電力使用量	kWh/百万円	88.9	88.0 (-1%)	89.9	98%	×
軽油	ℓ/百万円	4.08	4.04 (-1%)	4.36	93%	×
ガソリン使用量	ℓ/百万円	3.18	3.15 (-1%)	3.27	96%	×
産業廃棄物最終処分量	kg/百万円	8.3	8.1 (-2%)	5.5	147%	○
上下水道使用量	m³	87.0	86.6 (-0.5%)	93.0	93%	×
エコガラス販売枚数	枚数	178	179 (0.5%)	305	170%	○

* 購入電力（低圧電力）の排出係数は、0.486(kg-CO2/kWh)、
（従量電灯）の排出係数は0.000(Kg-CO2/kWh)で算出しています。

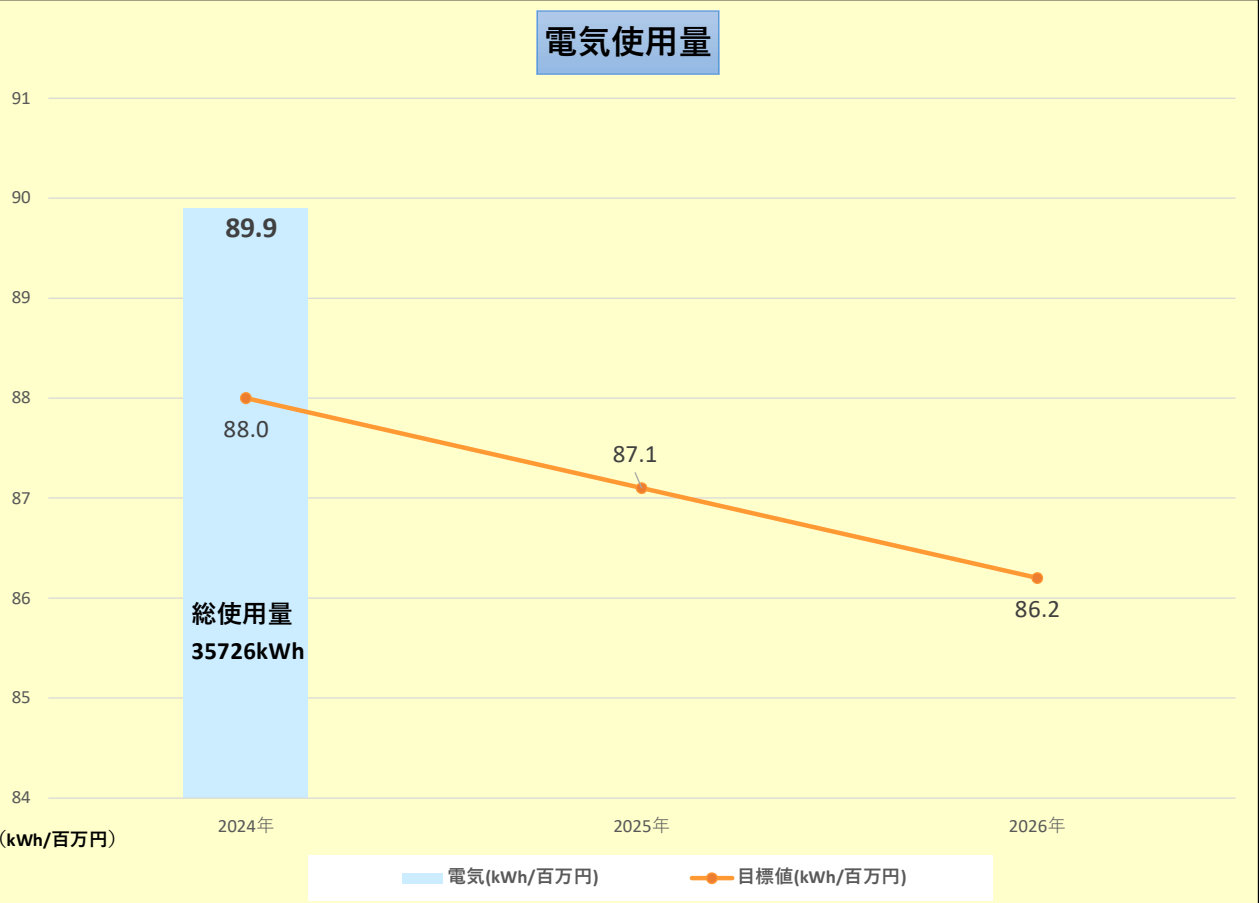
i. 温室効果ガス排出量削減取組 実績グラフ

温室効果ガス排出量



生産量が減ったので、必然的にCO2排出量は減り
数値目標は達成することができた。
売り上げベースでは未達成となった。

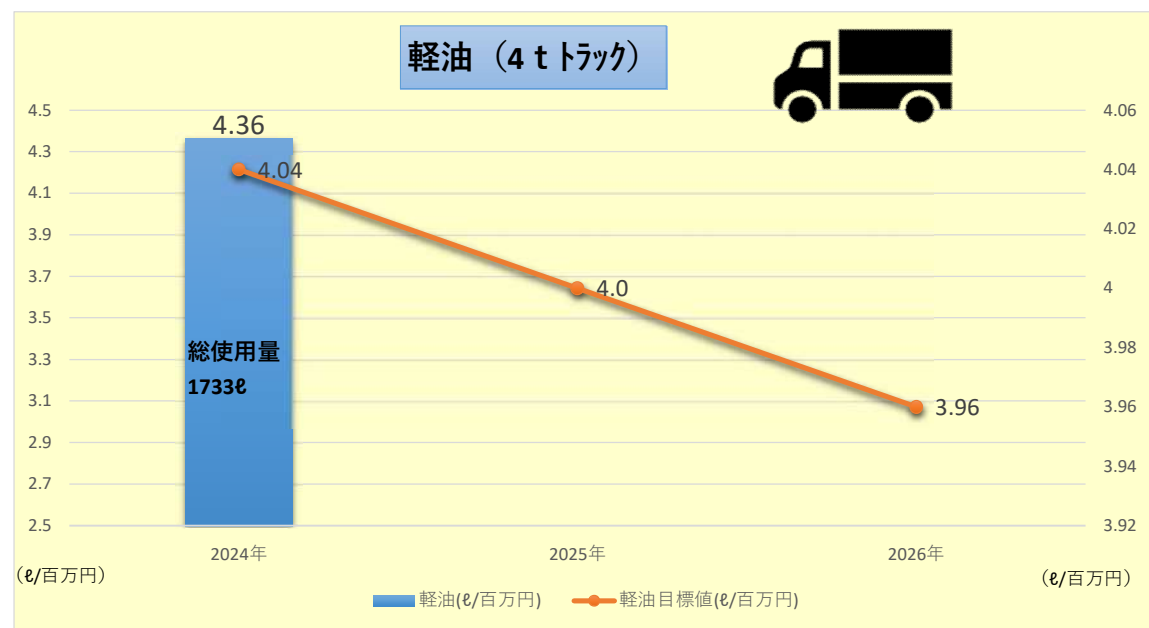
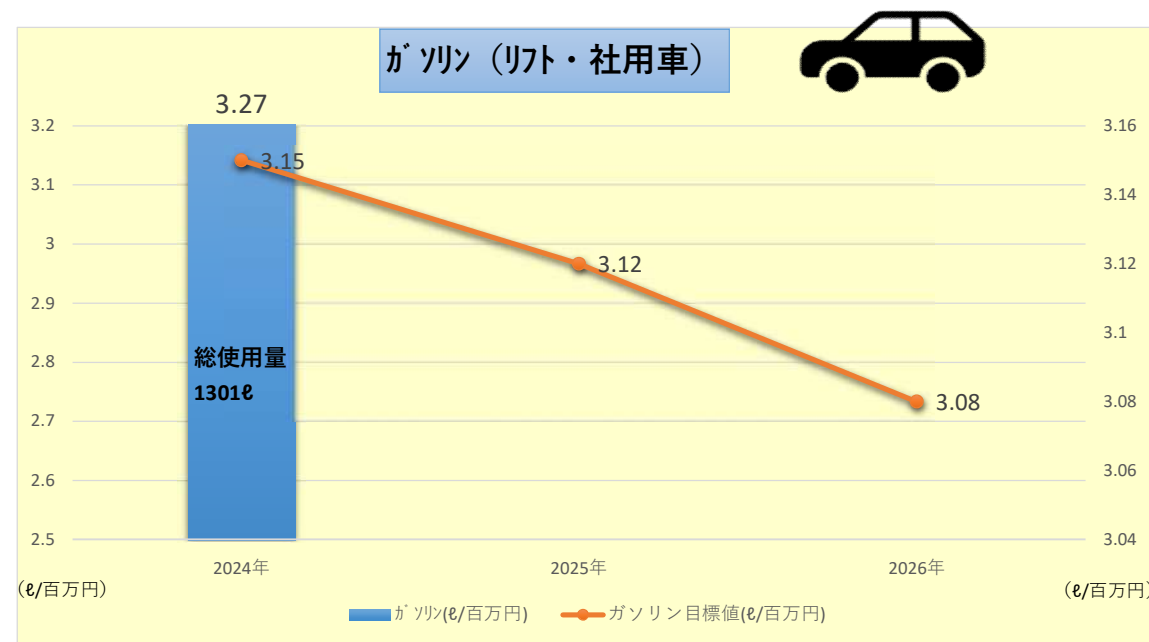
ii. 電気使用量削減の取組 実績グラフ



生産量が減った為、使用量は減っていますが、比例して売り上げも減っているため、結果目標には達成できませんでした。



iii. ガソリン・軽油使用量削減の取組 実績グラフ

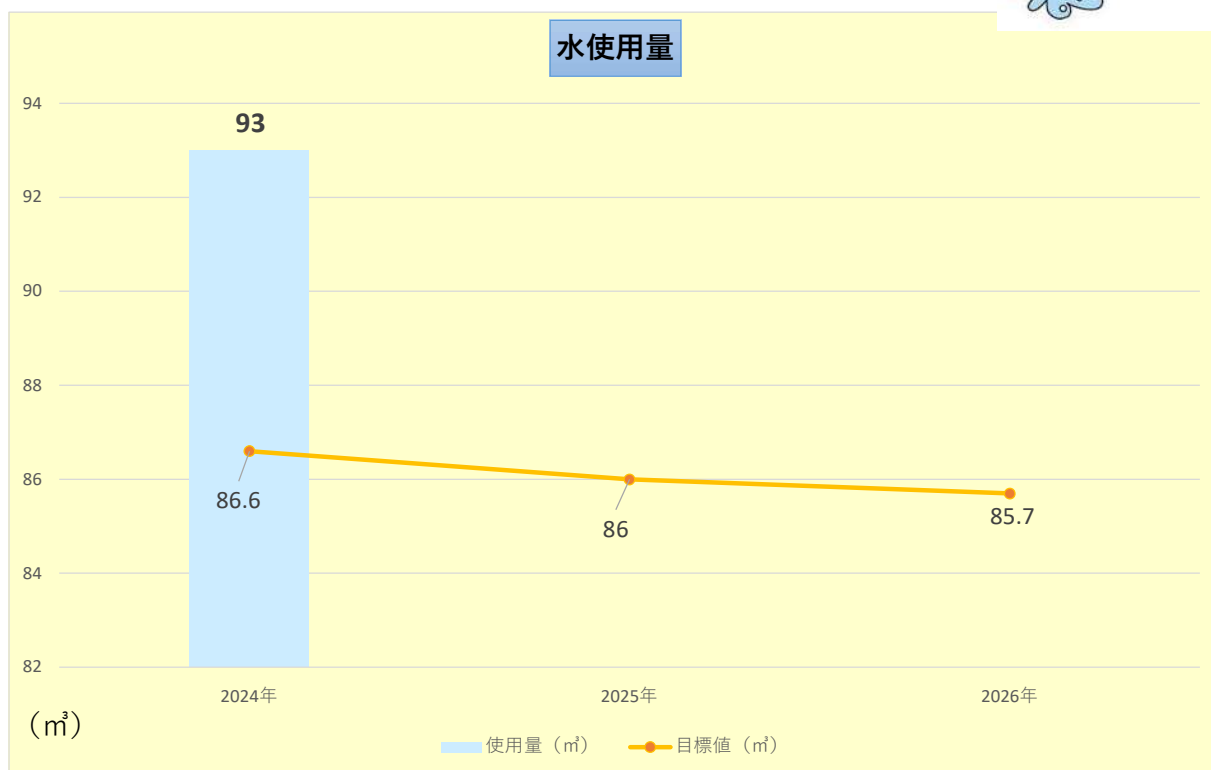


ガソリン：目標未達成 現地工事が増えたため。
軽油増加：目標未達成。使用量は去年とほぼ
変わらず。

【フォークリフト】
ガソリン 1台
電気 2台

【社用車】
軽自動車 / ガソリン
1 tトラック 2台 / ガソリン
4 tトラック 1台 / 軽油

iv. 水使用量削減の取組 実績グラフ

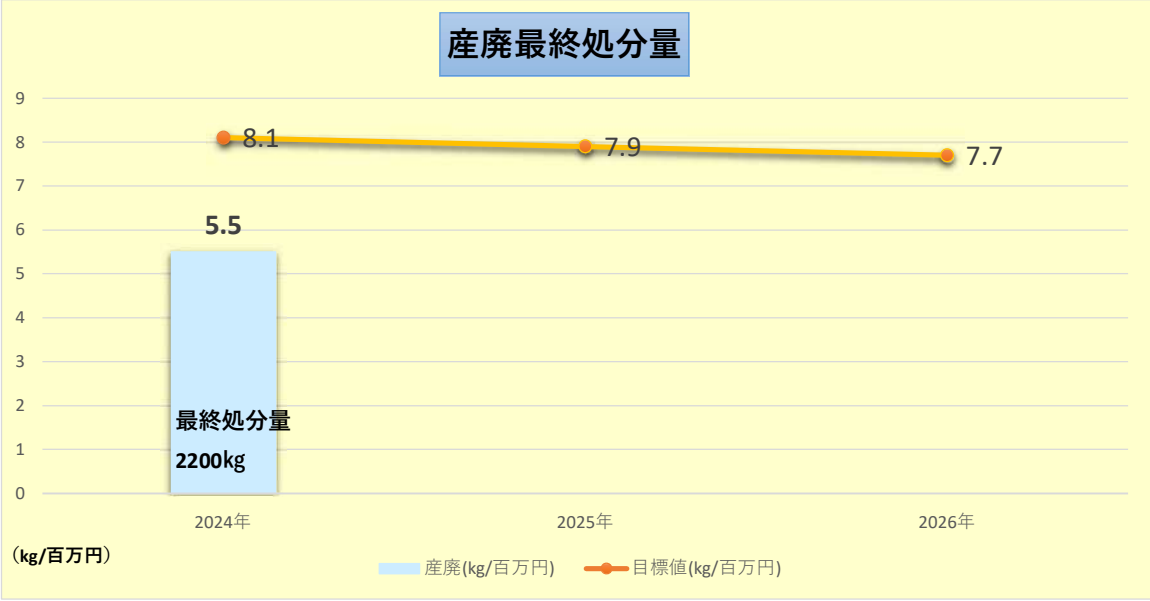


漏水等は発生していませんが、工事に使用するマットなどを定期的に洗濯するようにしたので使用量が全体的に増えたと思います。

主な水の使用

- ◆トラック・社用車の洗車
- ◆トイレ・手洗い
- ◆矽藻類の洗濯/週1回
- ◆清掃
- ★工事用マット/都度

v. 廃棄物削減の取組 実績グラフ



～主な産廃～

軟質プラスチック
金属膜仕様硝子

～特別～
単板、普通ガラス硝子…破片、カス

古紙、ダンボール…米澤園芸
アルミ…徳田商店
ビニール、硬質プラスチック…2018.2
引取不可

↓
ビニール…一般ゴミ、産廃
硬質プラスチック…産廃

アルミ材

硬軟質プラスチック

古紙回収

硝子カレット

ビニール



コンテナの回収が1回でした。
目標達成。
産廃は細かく切断し廃棄しているので今後も
継続する。

7.環境経営計画の実施状況とその評価結果

管理項目	達成	評価
温室効果ガス排出量 (kg-CO2)	○	生産量が減ったので温室効果ガス排出量も減ったと思います。
温室効果ガス排出量 (kg-CO2/百万円)	×	生産量が減り排出量は減ったが、売り上げも減ったので目標値には達成することができなかった。
購入電力使用量 (kWh/百万円)	×	エアー漏れなどは発生せず、昼休み消灯など徹底できた。 生産量が減り排出量は減ったが、使用量自体は去年とほぼ変わらず。 売り上げも減ったので目標値には達成することができなかった。
軽油 (ℓ/百万円)	×	4 tトラックの乗り換えはコスト面で難しい現状。 生産量が減ったが、大きいサッシが増え、台車の積載効率が悪いので 配送回数が増えた。
ガソリン使用量 (ℓ/百万円)	×	1 tトラックの乗り換えもコスト面で難しい現状。 工事自体は増えたが、遠方に行く回数が少なかったです。売り上げが 減ったので未達となった。
産業廃棄物最終処分量 (kg/百万円)	○	裁断し廃棄できていた。 コンテナ回収は1回だったので、目標は達成できた。
上下水道使用量(m ³)	×	節水の周知は出来ているので、継続できるよう心掛ける。 工事に使用するマットなどを都度洗濯するようにしたので使用量が増えた。
エコガラス販売枚数(枚)	○	今年は補助金制度があり、チラシを作成した。 その効果が出て、問合せ、工事が増えた。2025年も補助金制度が続く ので引き続きチラシを作成する。
グリーン購入	○	継続的に事務用品、生活用品はリサイクル商品を購入している。 入荷梱包資材を有効利用し、消耗品の購入を削減できている。 本年度はパソコンを1台新調。

8. 2025年度以降の取組内容

管理項目	2025年度取組み計画内容
温室効果ガス排出量	ガソリン、軽油使用量の削減施策検討。
購入電力使用量	省エネエアコンの入れ替え検討。 待機電力節電見直し。
軽油使用量	トラック新車入れ替えの検討（燃費向上） 配送回数の削減（積載効率の向上）
ガソリン使用量	ガソリン車リフトを1台を減らす。 工事予定、ルートの最適化を図る。
産業廃棄物最終処分量	リサイクル可能物及び方法の探求。 硝子分別の徹底。不具合削減による廃棄物削減。
上下水道使用量	現状維持、節水取組みの継続。
エコガラス販売枚数	2025年度補助金制度の活用。 HPの更新、チラシ作成

9.環境関連法規への違反・訴訟の有無

環境関連法規に対する違反や訴訟等はありませんでした。
外部からの苦情についても対象期間中では発生していません。

環境関連法規制順守評価表

法令等の名称	対象設備等	規制内容	順守 評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物（プラスチック、硝子金属くず）	適正処理	○
	事業系一般廃棄物	市町村の収集運搬、処理に協力	○
資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	金属くず	製品の長期間使用、再生資源の利用及び廃棄物のリサイクルの促進	○
	硝子	自社手順書の順守（委託契約書）	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	冷蔵庫、	① 長期間使用し、廃棄物を抑制する	○
	エアコン、洗濯機、テレビ	② 排出するときは、運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払いに応じる	今年該当なし
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	トラック	① 使用済みの自動車を引き取り業者に引き渡す	○
	乗用車	② リサイクル費用を資金管理法人に預託する	○
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	電話、FAX、携帯電話、	使用済小型電子機器等の収集・運搬又は再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努めなければならない。	○
	デジタルカメラ、PC、プリンター等		
自動車NOx・PM法	トラック（ディーゼル車）	ディーゼル車規制基準合格車を使用	○

法令等の名称	対象設備等	規制内容	順守 評価
フロン排出抑制法	エアコン、スポットクーラー	第一種特定製品簡易点検 回収ごとに取扱業者の知事登録書を確認すること。	○ ○
騒音規制法	コンプレッサー 1台 金属加工機械 プレス 1台 単発プレス 1台	平成17年 7 月 株式会社 大阪環境技術センター測定 平成25年9月22日 奈良市環境保全課立入調査（適合） 昼間：65dB以下	 ○
振動規制法	コンプレッサー1台 機械プレス 全て	平成17年 7 月 株式会社 大阪環境技術センター測定 平成25年9月22日 奈良市環境保全課立入調査（適合） 昼間：65dB以下	 ○
奈良県生活環境保全条例	コンプレッサー、ファン（7.5KW） 金属加工機械 廃棄物	騒音等規制基準の遵守義務 騒音等発生施設の設置の届出 適正処理	○ ○ ○

順守評価日時：2024年12月27日

【確認】環境管理責任者 松田 麻友美
【確認】最高責任者 山本 尚永

10.代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果 社長承認		
開催期日:2025年1月10日 出席者:社長・松田・村田・烏頭尾 記録:鍵田 作成日:2025年1月16日		
環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
[取組状況の評価結果] ・仕様書の確認及び通い台車のメンテ ・電動ドライバーのトク管理・リフト運転 ・エコガラス販売の拡大 ・技能者教育 ・防災教育(緊急時対応) ・環境問題、取組みの周知	[活動内容] ・エアードライバーから電動ドライバーへの変更・設備点検・改修 ・安全パトロール実施 (1回/月) ・チラシ作成・HPの更新 (投函3回/年) ・現地工事対応 (工事毎) ・消火栓の作動及び放水訓練 (作動1回/月 放水 3回/年) ・環境経営委員会の実施 (1回/月)	[活動内容] ・電動ドライバーのトク管理継続 ・リフト運転マニュアルの作成 ・2025年補助金チラシ継続 ・内窓施工習得 ・アタッチメントア施工習得 ・カバー工法による窓交換施工の習得
[目標・環境活動計画の達成状況] ・漏洩効果ガス排出量 ○ ・購入電力使用量 × ・軽油使用量 × ・ガソリン使用量 × ・廃棄物最終処分量 ○ ・上下水道使用量 × ・エコガラス販売量 ○	[目標・環境活動計画の達成状況] ・安全パトロール実施 ○ ・消火栓作動及び放水訓練 ○ ・外部コミュニケーション実施 ○ ・環境経営委員会の実施 ○ ・現地工事人員確保 ○	[目標・環境活動計画の達成状況] ・目標について、売上当たりの目標設定を変更 ・消防訓練の継続 ・外部コミュニケーション継続 ・エコガラス拡販
[環境経営の理解] ・省エネ商品の理解と販売の強化	[活動提案] ・チラシ作成・HPの更新	[活動指示] ・2025リフォーム補助金の活用
社長の総合コメント：2024年度は、10%の売上減少となり、環境経営評価の未達が多かった。 環境経営目標設定方法の検討を要する。2025年度は、補助金制度を活用したビル用エコガラスの拡販を検討する。		